



社会的孤立を超えインクルーシブコミュニティを創造する

多セクターとの協働によるまちづくり

地域・家庭・学校・行政・大学・企業と協力しながら ひとりぼっちのいない町をつくる！

私たちが町のワクワクする仕組みをつくる際に大切にしているのは、地域・家庭・学校・行政・大学・企業など多様な団体(セクター)や人たちと協働しながら社会課題を解決することです。

昨今、日本社会全体の課題となっている「子どもの貧困」の解決のため行っている「ただいま～と言える子どもの居場所づくり事業」や国連が提唱している持続可能な開発目標「SDGs」の一つである「住み続けたい町」をつくるための「コミュニティ再生事業」などはその実践の一つです。

また、私たちは、富田地域の課題解決のみならず、そこで得られた知見やノウハウを日本各地に発信し他地域の課題解決の一助となる事も願っています。

今期に本格スタートしたコミュニティ再生事業も全国で災害が多発する今、事業を通して見いだされる仕組みが他地域の課題解決の一助につながると確信しています。

地域・家庭・学校・行政・大学・企業などと協力しながら ひとりぼっちのいない町をつくる！

「コミュニティ再生事業」を本格スタート



「誰も取り残さない」まちの仕組みづくりを目標に2019年度4月からの最重点課題としてスタートした「コミュニティ再生事業」。

- ① 住まい編(住宅の建替)
 - ② まちづくり編(長期的なコミュニティ再生)
- の2本柱で行っています。

まずは、子ども、大学生、障がい者、子育て世代、高齢者、外国籍の人まで町に住む多様な声を集めまちづくりプランを作成します。

この間、自治会を始めとした地域関連組織が集まり開催したワークショップを通じ地域住民の声、平安女学院大学・大阪人間科学大学での授業を通じた大学生の声、PTA 学習会を通じた子育て層からの声、高槻支援学校の教職員向けの研修での障がい者の声など多様な声を集めています。

(濱田高槻市長の3期目施政方針)

高槻市(市長)の3期目の施政方針「将来にわたり誰もが幸せを実感できるまちの実現へ！」として3大テーマに「副都心富田地区のまちづくり」が表明されました。今後、まちづくりが加速化され、行政とも連携して事業の実施を図ります。

01 大学との協働 まちづくりに大学生の力を活かす

これまで連携をいただいている平安女学院大学、大阪人間科学大学、関西大学に加え、新たに大阪大学との連携を図っています。

一つは「共創知」を生み出す場をテーマに産官社学連携による仕組「OOS(大阪大学オムニサイト)」の協定を9月20日に締結しました。

もう一つは「未来共生イノベーター博士課程プログラム」の一環として大学院生が地方公共団体やNPOなどに出向き実践から学ぶ「公共サービスラーニング」の実習先となり、この10月からインターン生を受け入れることになりました。



02 地元学校園「ゆめみらい学園」との協働

「いまとみらい」をテーマに総合的な学習の時間を通じて社会参画力の育成を図っている地元富田小学校・赤大路小学校、第四中学校、富田保育所・幼稚園の園児・児童・生徒が共生食堂「富田わくわく食堂」をはじめ多様な事業に携わって頂いています。

今期は、「住み続けたい町」をテーマに富田小学校4年生が「マイタウンミーティング」という授業を実施。

子どもたちが主人公となって町を創る取り組みに関係諸団体の皆様と共にサポートしています。



【ほっと Station 富田つながり BOOK】

昨年、富田小学校5年生の総合的な学習の時間の取り組みで、子どもたちが大阪北部地震による災害支援から学んだことを冊子化し、チャリティグッズとして制作。当法人も関係諸団体の皆様とともにこの取り組みに協力させていただきました。

03 企業との協働 「SDGs」パートナーシップの実践



この間、わくわく食堂へのサンスター(株)による歯ブラシのご提供、TOA(株)や大阪ガス(株)によるワークショップ開催、ふーどばんく OSAKA やダイエーフードライブによる食品のご提供をいただいています。また、今期新たに丸大食品(株)も食材のご提供をいただくことになりました。企業様のご支援に改めて感謝申し上げます。



子どもの居場所づくりは「子どもの未来応援基金」(内閣府他)、コミュニティ再生事業は、阪急阪神ホールディングスグループが行う「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」より助成を受け実施しています。

この財源をもとに今年度は町に住む多様な声を集めたまちづくりプラン作成、来年度はコミュニティスペースの創出、3年目は報告書の作成を通じた知見の普及を行う予定です。

04 富田富寿栄盆踊り大会開催



2019年8月31日(土)に地元自治会・老人会等との協働のもと富田富寿栄盆踊り大会を開催しました。

当初雨が心配されましたが奇跡的に雨もやみ、昨年の1,000名を超える1,200名のご参加をいただきました。

ご来賓の皆様、関係者の皆様、ご参加いただいた皆様どうもありがとうございました。

05 社会的養護の子どもたちのバックアップ事業



10年目となるこの事業は、①児童養護施設の子どもたちへの自然体験活動と②ボランティアスタッフ研修の2つの柱で行っています。

おかげさまで携わる大学生も20名以上に増えマンツーマンで子どもたちと関わっています。ここでは子どもの育ちはもちろん、将来学校教員や福祉職を目指す学生さんの育成にも力を入れています。

詳しくは別紙のちらしをご覧ください。

info [皆様への支援のお願い]

当法人は、ただいま～と言える子どもの居場所づくり事業、コミュニティ再生事業をはじめとするすべての社会貢献事業を現在、行政からの受託を得ることなく運営しています。

これらの子どもの居場所やプロジェクトを持続可能なものとしていくため皆様ぜひ応援してください。

○会員となり応援する！

正会員(団体)1万円(個人)5千円 賛助会員(団体)1万円(個人)1千円 年額(1口)

お振込先 ゆうちょ銀行 口座記号 00990-6 口座番号 201524

加入者名 タウンスペース WAKWAK

○クレジットカードによるオンライン寄付サービスも導入しています。

同封別紙をご参照ください。

(編集後記)

コミュニティ再生事業という次の数十年を見据えた大きなプロジェクトに本格着手を始めました。

次の壮大なチャレンジの実現のためにみなさまのご支援をよろしくお願い致します。

発行// 一般社団法人タウンスペース WAKWAK 〒569-0814 高槻市富田町2丁目13-8 ハイツ白菊1F

TEL / FAX 072-693-9005 E-mail jinken@ba.wakuwaku.com URL <https://wak2.jimdo.com/>